

(別紙3)
ご施起第1383号-1
令和6年11月8日

(施設名) 米子市児童文化センター
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 印

令和5年度「米子市児童文化センター」指定管理者業務評価書

施設名	米子市児童文化センター
施設所管課	こども総本部 こども施設課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和8年3月31日（8年目）

<p>【モニタリング終了後の総評】・事業計画書、収支予算書と実際の業務内容を比較して記入する。 ・毎月の「運営状況チェック表（自己評価）」、半年ごとの「モニタリング評価表」で確認した内容等を記入する。</p> <p>【施設所管課】施設利用者数が昨年度から大幅に増加していることもあり、施設の管理運営面での工夫、事業の拡大や再開、多数の媒体での広報活動など、利用者獲得に向けた様々な取り組みが伺える。</p> <p>【第三者評価】安心、安全に利用できるための管理運営がなされていることが伺える。今後も子どもの居場所となる施設として、魅力ある事業の実施や、関係機関や地元の団体との連携に取り組むことで、さらなる環境整備を進めていただきたい。</p>
--

<p>【今後の業務改善方策等の特記事項】</p> <p>【施設所管課】利用者からのアンケート回収数が少ないため、より多くの意見を集めるための取り組みを強化し、その声を反映させることで、より良い施設づくりに役立てていただきたい。</p> <p>【第三者評価】引き続きアンケート等で意見を収集し、利用者のニーズに合う事業を実施していただきたい。事業の実施にあたっては、様々な分野の研修を活用して職員のスキルアップに励んでいただきたい。</p>

(別紙2)

令和5年度下期「米子市児童文化センター」モニタリング評価表〔令和6年7月〕

施設名	米子市児童文化センター				
施設所管課	こども総本部 こども施設課				
指定管理者名	団体名	一般財団法人米子市文化財団			
	所在地	米子市西町133番地			
指定期間	平成28年4月1日～令和8年3月31日				
選定方法	公募・ <input checked="" type="checkbox"/> 非公募				
施設の設置目的	児童の健全育成				
主な実施事業	(1) プラネタリウムの投影及び天体観測設備の利用 (2) 児童文化活動の推進 (3) 青少年関係団体の指導者の育成 (4) 上記の外、児童の健全な育成を図るための必要な事業				

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料確認。 適切に行われている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るために研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認。 様々な分野の研修に意欲的に参加している。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認。 地元メディアの出演や、取材、SNS、広報誌等による広報活動により、利用者拡大に取り組んでいる。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料確認。 前年度から約16%増加している。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認。 利用者アンケート等で得

			た要望は、即座に改善策を提案し実行しようと努めている。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認。 適切に行われている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認。 ボランティアと連携しながら、職員による清掃を実施している。

(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認。 適切に行われている。
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認。 迅速かつ適切に行われている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	資料確認。 利用者のニーズに合った新規事業や、コロナ5類移行に伴い再開できた事業など、昨年度を上回る事業を実施していただいた。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認。 適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	資料確認。 適切に行われている。

II サービスの質の評価（25点）

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認。 各事業報告書に反省点や改善策が明記されている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	資料確認。 適切に行われている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか	B	資料確認。 適切に行われている。

	利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか		
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	資料確認。 施設の設置目的に即した事業内容であった。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認。 施設の設置目的に即した管理運営内容であった。
III サービスの安定性の評価 (15点)			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認。 妥当である。
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認。 妥当である。
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認。 妥当である。

【総評（所管課評価）】 コロナ5類移行に伴い多くの制限が緩和された後も、施設や設備の適切な管理により、来館者が安心して施設を利用できる環境づくりに努めていただいた。また、事業数の拡大や再開により施設利用者数は増加し、コロナ前の水準に戻りつつある。引き続き利用者のニーズに合った事業の実施を継続していただきたい。	合計点 (66)点 / (100)点 ×100 = (66) 平均点 (3.3)点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

※合計点は小数点第1位を四捨五入、平均点は小数点第2位を四捨五入とする。

【補足資料】

1 利用状況

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕B	対比 A-B	対比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	304	304	0	100.0	
施設利用者数	151,119	129,928	21,191	116.3	
施設稼働率	83.3	83.3	0.0	100.0	
事業開催数	921	758	163	121.5	コロナ収束に伴い、新規事業の実施や事業の再開があったため。

2 事業収支

(1) 収 入

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕B	対比 A-B(円)	対比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	148,519	189,516	-40,997	78.4	貸館の有料使用減のため。
指定管理料	68,053,000	65,209,000	2,844,000	104.4	
自主事業収入	1,967,920	1,983,200	-15,280	99.2	
雑収入	209,169	178,933	30,236	116.9	
助成金	0	1,680,651	-1,680,651	0.0	対象補助金なし。
その他	2,467,180	2,770,273	-303,093	89.1	
合 計	72,845,788	72,011,573	834,215	101.2	

(2) 支 出

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕B	対比 A-B(円)	対比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	42,289,361	41,841,558	447,803	101.1	
消耗品費	980,390	763,923	216,467	128.3	おもちゃ、パネル・案内板、カメラ、パソコンソフト等の購入のため。
光熱水費	8,502,255	8,086,113	416,142	105.1	
外部委託費	6,170,296	6,808,279	-637,983	90.6	
備品購入費	0	0	0	0.0	
事業費	3,188,206	3,188,212	-6	100.0	
その他	11,715,280	11,323,488	391,792	103.5	
合 計	72,845,788	72,011,573	834,215	101.2	

3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和5年4～令和6年3月〕A	前年度〔令和4年4～令和5年3月〕B	対比 A-B	対比 A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
①事業収支	0	0	0	0.0	
②利用料金比率	0.20	0.26	-0.06	76.9	貸館の有料使用減のため。
③人件費比率	58.05	58.1	-0.05	99.9	
④外部委託費比率	8.47	9.45	-0.98	89.6	
⑤利用者当たり管理コスト	482.04	554.24	-72.20	87.0	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	450.33	501.89	-51.56	89.7	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化の方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入×100）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出×100）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出×100）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	備考
①自己資本比率	62.8	44.8	55.5	61.2	54.6	
②流動比率	323.6	196.3	257.0	312.3	247.8	
③固定長期適合率	11.0	12.6	10.9	10.5	9.5	
④総資産経常利益率	△0.5	△8.1	8.8	3.6	7.1	
評価	(以上の指標を参考に評価する)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率（%）} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年内に現金化できる試算を「流動資産」、1年内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（%）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】} 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（%）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】} 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

※補足資料1～4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
	社債 300
固定資産	退職給付引当金 200
建物及び構築物 200	固定負債合計 500
土地 500	負債合計 1,200
投資有価証券 200	【純資産の部】
固定資産合計 900	資本金 600
	利益余剰金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

年度を通して大きな苦情はなかった。その他ご意見に対しては以下のように対応した。

(施設の老朽化、ネット申込の導入について)

予算や他の修繕等の緊急度を鑑みて優先順位を決めていく。

(プラネタリウム番組を2ヶ月に1回更新してほしい)

同様の声が他にもあがっていたこともあり、令和6年度の上映スケジュールに反映。

6 利用者アンケートの結果

- ・ プラネタリウム事業について（職員解説、投影内容について高い評価を得ている）
- ・ 事業について（楽しかった、また参加したい等）
- ・ 職員について（丁寧、子どもにやさしく教えてくれる）
- ・ 施設や設備について（建物の古さ、トイレの洋式化等）